

研究分野 政治経済学（マルクス経済学）

キーワード グローバル化、知的財産権、デザイン

## グローバル化と知識社会

経済学部 経済学科 <http://www.oita-u.ac.jp/>  
准教授 江原 慶 (Kei Ehara)



### 研究概要

#### (1) グローバル化する経済社会を読み解く基礎理論の研究

1980年代以来、それまで停滞していた「第三世界」から、新興国が経済発展を遂げ、世界経済の様相は大きく様変わりしました。もともとマルクス経済学は、そのような歴史的变化を捉え、未来社会を展望すべく発展した学問でしたが、近年の大きな歴史の転換を受けて、その基礎理論にも再構築が求められています。特に貨幣・金融論や景気循環論に焦点を当てて、グローバルな動きを読み解く基準となるべき経済理論を、マルクス経済学の研究蓄積を踏まえて研究しています。

#### (2) グローバリゼーション下での知識社会の進展に関する考察

上のような基礎理論研究と合わせて、現状分析も試みています。新興国の発展に伴って、日本を含めた先進国経済には長らく抜本的な改革の必要性が叫ばれています。手足を使った労働だけでなく、頭を使った創意工夫が重要になる社会は、ひろく知識社会と呼ばれ、それは一つのキーワードになってきました。現在は、特にモノづくりにおける知的活動に着目し、特許や意匠をはじめとした、知的財産権の役割について考察しています。

### アピールポイント（技術・特許・ノウハウ等）

- ・『資本主義的市場と恐慌の理論』日本経済評論社、2018年4月刊行予定
- ・Economic Impacts of Receiving International Design Awards in Japan, *The Bulletin of Japanese Society for the Science of Design*, Vol.61, No.5, pp.57-66, Jan. 2015 (Joint with Kimiaki Suzuki and Hiroaki Tsuno) (プロダクトデザインの経済的価値に関する実証分析)
- ・東和なぎさ知的財産研究所機関誌『東和知財研究』（2016年より知的財産全般に関する論考を寄稿）
- ・東和なぎさ知的財産研究所上席研究員
- ・東和なぎさ経営戦略研究所顧問

### 応用可能な分野

- ・知的財産戦略全般（国内・グローバル）